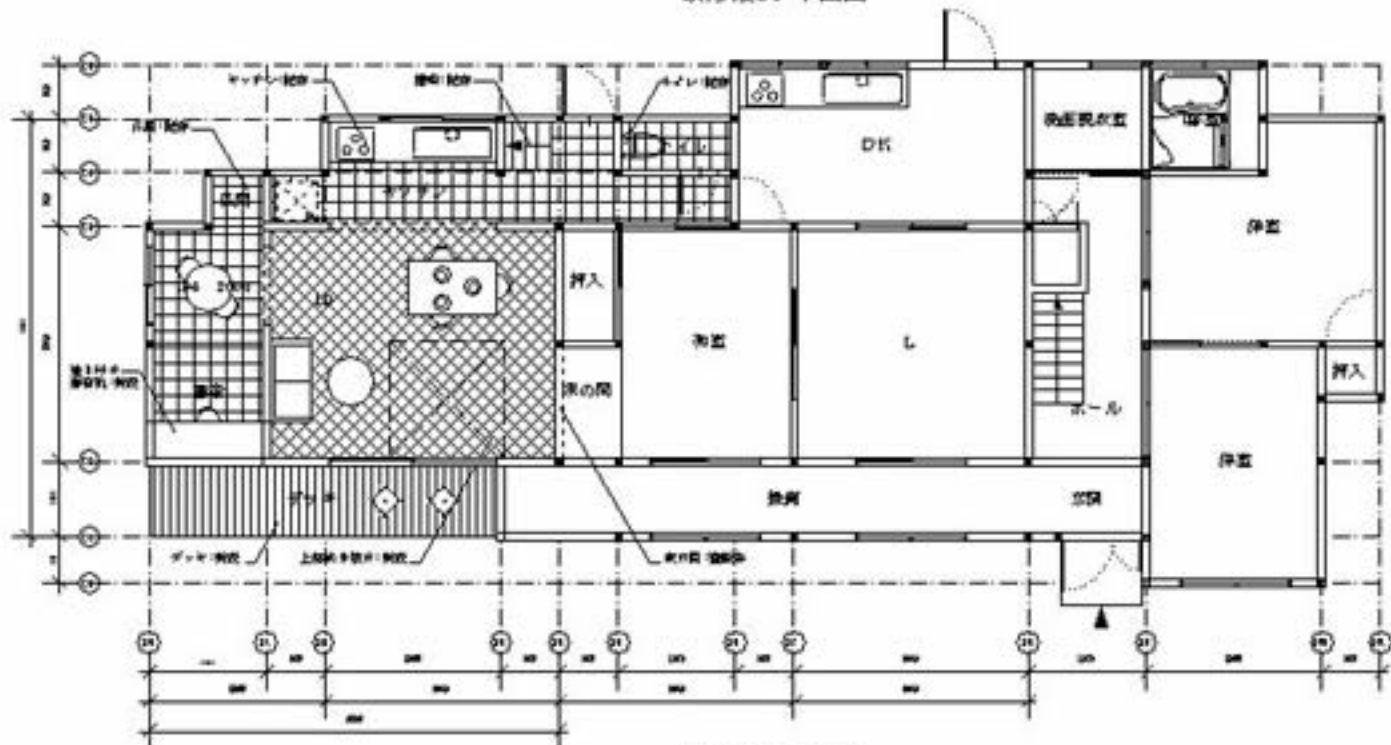


改修後2F平面図



改修後1F平面図

口囲まれたワンルームと開かれた個室

周辺環境との関わりが多い1Fは、リビングやダイニング、和室などをワンルームとし、その周りをキッチンや書斎、デッキなどが、ぐるりと囲むことによって建築内部にぽっかりと大きなワンルームをつくりだしました。

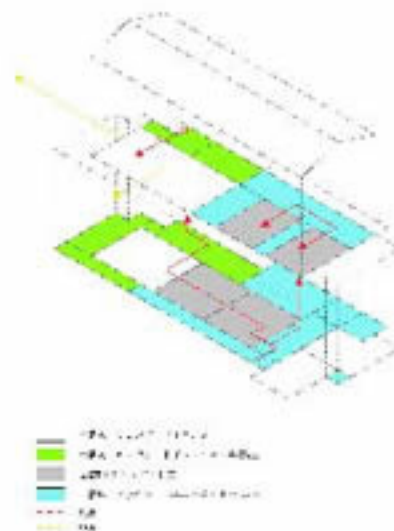
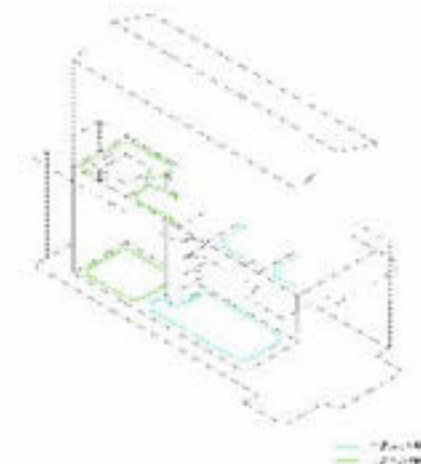
この大きなワンルームは周辺環境からは遠慮に分節され、守られた空間でありながら、2世界を緩やかにつなぐ空間でもあります。

対照的に2Fの個室では周囲の景色を望む開放的な空間となっていながら、それぞれの家族にとってプライベート性の高い空間となっている。

口吹き抜け上のテーブルと収納の塔

1Fのリビングの吹き抜けは2F部分では片方の家族の共通のテーブルとなっている。1Fの押入れはそのまま2Fまで続き、収納の塔をつくっている。

この2つのボリュームは2Fでの家族の顔を微妙に仕切りつつ繋げている。



口多量の景色

中央のワンルームの仕上げをP.B. E.P仕上げとし、白を基調とした空間としました。対照的にワンルームを囲む空間は木質系素材とし、比較的ヴィヴィッドな色で構成としました。

P.B. 木、周辺環境の景色など、これらが美しい奥行きをもちながら視覚にも重なり合い、楽しめることから多量の景色としました。

